

FY2023 2Q

Financial results
briefing

決算説明会資料

～2023年3月期 第2四半期～

2022/10/31

日本ハム株式会社

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. (無断転載禁止)



たんぱく質を、もっと自由に。
Nipponham Group Vision 2030

CONTENTS

1. 2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期2Q実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11.セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年 3 月期 計画

- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事業本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

※ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。

※ 当社グループは、事業活動を通じて獲得する利益をより明確に示すことを目的として、2020年3月期の連結業績予想から従来の営業利益に替えて、事業利益（売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益、IFRSへの調整及び非経常項目を調整して算出）を開示しております。

※ 四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

※ 前期の売上高、税引前利益、事業利益は、株式譲渡したマリンフーズ株式会社及び同社の子会社などに関連する水産事業を除いた継続事業の金額を表示しております。

CONTENTS

1. 2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期2Q実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11.セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年 3 月期 計画

- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事業本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

2023年3月期上期実績

(単位：億円)

	23年3月期1Q	23年3月期2Q	23年3月期上期	前年差	増減率
売上高	3,115	3,225	6,340	649	11.4%
事業利益	92	60	152	△ 90	△37.3%
内) 継続事業 事業利益				△ 79	△34.3%
事業利益率	2.9%	1.9%	2.4%	△1.7%	-
税引前当期利益	144	79	223	△ 58	△20.6%
親会社に帰属する当期利益	102	53	155	△ 41	△21.0%

上期 前年差増減要因

売上高は、高騰している食肉価格に対して、国内や海外の販売で価格転嫁を進め11.4%増収

事業利益は、加工事業、食肉事業、海外事業ともに取り巻く環境が悪化し減益

税引前当期利益は、営業利益の減少や営業外損益の増加が影響し20.6%減少

親会社に帰属する当期利益は、事業利益の減少が影響し21.0%減少

1. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績

セグメント別事業利益実績

(単位：億円)

	23年3月期1Q	23年3月期2Q	23年3月期上期	前年差	増減率
加工事業本部	12	1	13	△ 57	△80.9%
内) 継続事業				△ 45	△77.3%
食肉事業本部	71	72	142	△ 36	△20.2%
海外事業本部	3	△ 13	△ 9	△ 16	-
球団・その他	8	11	19	15	347.3%
消去調整他	△ 3	△ 11	△ 13	3	-
連結計	92	60	152	△ 79	△34.3%

上期 前年差増減要因

加工事業本部

主原料・副資材・電燃料の高騰が継続、
価格改定による主力ブランドの販売数量の回復が遅れ減益

食肉事業本部

飼料価格が2Qに入りさらに高騰、輸入食肉の価格高騰による
国内需要減退も影響し減益

海外事業本部

牛肉事業の収益が悪化し減益

球団・その他

プロ野球の上期の試合数が変則だった昨年よりも増え増益

CONTENTS

1. 2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期2Q実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11.セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年 3 月期 計画

- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事業本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

価格改定後のコンシューマ販売数量が低迷し減収。主原料・副資材・電燃料高騰も影響し減益

2023年3月期実績

(単位：億円)

	23年3月期1Q	23年3月期2Q	23年3月期上期	前年差	増減率
売上高	990	1,050	2,040	△390	△16.0%
内) 継続事業				△47	△2.3%
事業利益	12	1	13	△57	△80.9%
内) 継続事業				△45	△77.3%
事業利益率	1.2%	0.1%	0.7%	-	-

チャネル別/コンシューマ商品別 上期売上実績（前年比）

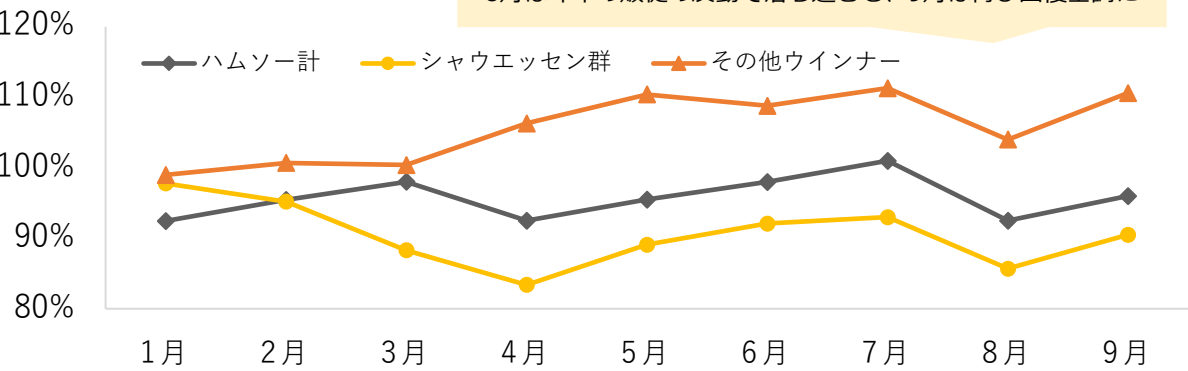
ハム・ソーセージ	数量	金額	ハム・ソーセージ	金額	デリ商品	金額
コンシューマ計	95%	96%	ウインナー群	93%	チルドベーカリー群	103%
業務用計	106%	107%	ロースハム群	109%	チルド惣菜群	84%
デリ商品	数量	金額	ベーコン群	104%	フライドチキン群	101%
コンシューマ計	91%	97%	焼豚群	101%	ハンバーグ・ミートボール群	99%
業務用計	94%	100%	コンシューマ計	96%	コンシューマ計	97%

上期 コンシューマ商品売上実績

主力ブランドの価格改定後の回復遅れで減収

- ・ハム・ソーセージ：ロースハム群や豊潤ウインナーは好調も、シャウエッセンが価格改定後の回復遅れで減収
- ・デリ商品：スナック需要の拡大でチルドベーカリー群は好調も、中華名菜が野菜の高騰と価格改定後の回復遅れで減収

売上推移（金額）



上期 業務用商品売上実績

- ・ハム・ソーセージ：CVS向け商品が好調で増収
- ・デリ商品：CVS向け商品が価格改定の影響で減収

乳製品・水産、エキス・一次加工

- ・コンシューマ（乳製品）：とろけるラッシーは好調も、バニラヨーグルトが価格改定後の回復遅れで減収
- ・業務用：業務用チーズや外食向けエキスが好調で増収

事業利益増減要因分析

(単位：億円)

	1Q実績	2Q実績	上期計画	上期実績	差異
ハム・ソーセージとデリ商品事業	△14	△25	△38	△39	△1
外部要因	△24	△36	△63	△61	2
主原料価格	△10	△15	△26	△25	1
副資材・燃料等	△15	△21	△37	△36	1
内部要因	11	11	25	22	△3
価格改定効果	7	7	16	14	△2
改善活動	3	4	9	8	△1
乳製品・水産とエクス・一次加工品事業	0	2	1	1	0
DX費用	△4	△4	△10	△8	2
合計	△18	△27	△47	△45	1

上期 計画差異要因分析

【ハム・ソーセージとデリ商品事業】 △1億円

(外部要因) 2億円

主原料・副資材・燃料等：1Q以降円安が進んだが、
上期の調達はほぼ計画通りに推移

(内部要因) △3億円

価格改定効果：価格改定に伴う販売単価の上昇は計画通り発現したが、
改定後の販売数量の回復遅れにより計画を下回った

改善活動：主力ブランドの販売数量回復遅れにより商品ミックスが悪化

【乳製品・水産とエクス・一次加工品】 0億円

チーズ：外食向けチーズが好調に推移し計画を上回った

ヨーグルト：価格改定をしたバニラヨーグルトの販売数量の
回復が遅れ計画を下回った

エクス・一次加工品：CVS向け商品の販売数量が減少し計画を下回った

※マリンフーズ株式会社及び同社の子会社などに関連する水産事業を除いた継続事業との前年差を比較

輸入・国産の各畜種の販売単価が上昇し増収も、想定を上回る飼料、燃料価格の高騰を補えず減益

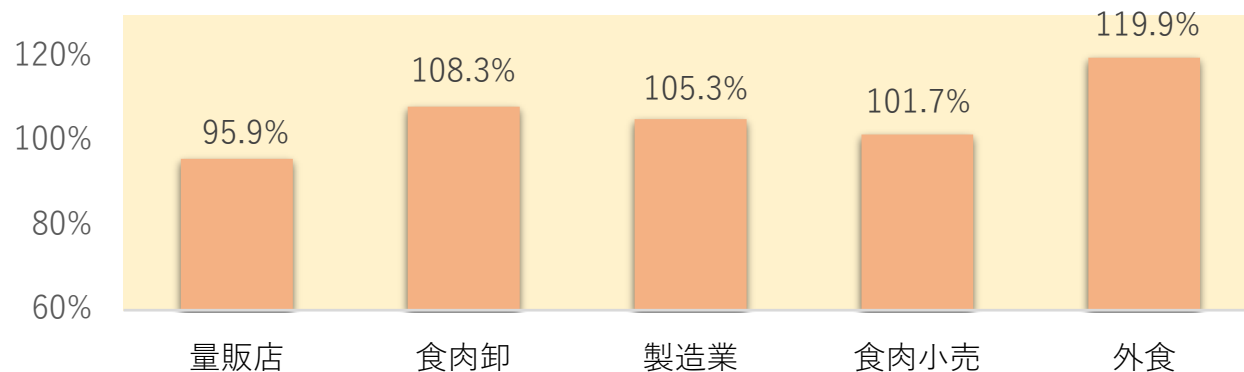
2023年3月期実績

(単位：億円)

	23年3月期1Q	23年3月期2Q	23年3月期上期	前年差	増減率
売上高	1,790	1,827	3,617	318	9.6%
事業利益	71	72	142	△ 36	△20.2%
事業利益率	3.9%	3.9%	3.9%	-	-

上期チャネル別売上数量実績（前年比）

2023年3月期 フード4社の売上数量実績
全体の数量伸長 101.4%



上期 畜種別売上実績

- ・牛肉：国産牛肉の販売拡大と輸入牛肉の単価上昇で増収
- ・豚肉：国産相場や輸入調達価格の高騰で販売価格への転嫁が進み増収
- ・鶏肉：節約志向による国産鶏肉の需要拡大で数量・単価共に上昇し増収

上期 チャネル別売上実績

- ・量販店：量販店の販促頻度の減少等で、販売数量は昨年を下回ったが、価格転嫁が進み販売金額は伸長
- ・外食：外食チャネルの回復に合わせ、ニーズに応えた商品提案を行い、市場の回復以上に販売金額が伸長

上期 輸出ビジネスの拡大

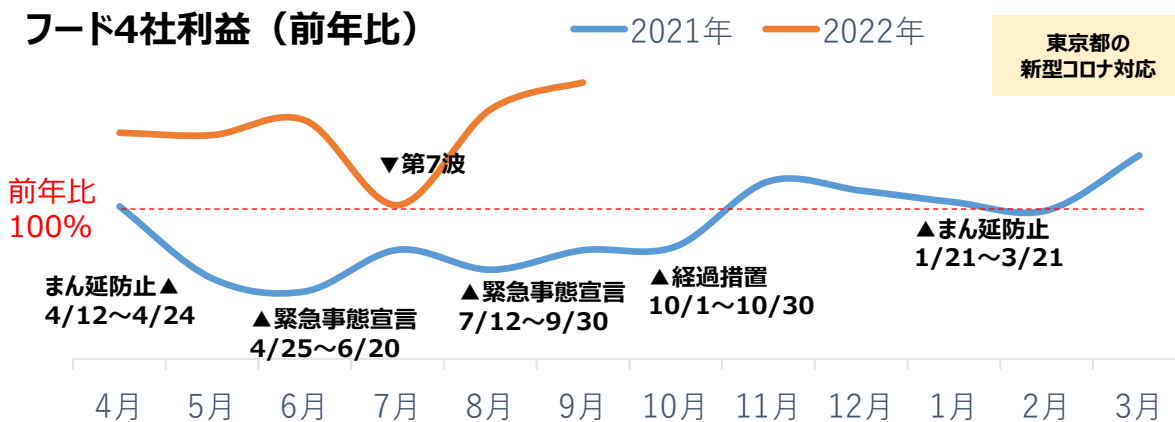
- ・和牛を輸出EXPOに出展。アジア圏への新規販路開拓を進めた
(和牛輸出量 126% (前年比))

事業利益増減要因分析

(単位：億円)

	1Q実績	2Q実績	上期計画	上期実績	差異
国産牛・豚事業	1	△4	4	△3	△7
国産鶏事業	△17	△4	△26	△21	5
輸入食肉事業	△3	△18	6	△21	△27
フード販売	7	6	24	14	△10
DX費用	△4	△5	△10	△9	1
その他	△8	12	3	4	1
合計	△25	△11	2	△36	△38

フード4社利益（前年比）



上期 計画差異要因分析

【国産牛・豚事業】 △7億円

生産部門：主に飼料価格の高騰が影響し計画を下回った

荷受部門：相場上昇に対し価格転嫁が追いつかず計画を下回った

【国産鶏事業】 5億円

生産部門：鶏肉相場は想定より堅調に推移したが、

飼料価格上昇で計画を下回った

荷受部門：節約志向による鶏肉需要の増大や、輸入食肉の価格高騰で

国産鶏肉に需要がシフト。価格転嫁が順調に進み計画を上回った

【輸入食肉事業】 △27億円

調達価格高騰による販売単価上昇で、国内需要が減退し減益

牛肉：現地の生体価格上昇が続き、調達価格が高止まりし計画を下回った

豚肉：外食回復で冷凍豚肉の販売は堅調に推移したが、

冷蔵豚肉の価格高騰で国産豚肉に需要がシフトし計画を下回った

【フード販売】 △10億円

販売：外食需要の回復に合わせ、輸入食肉の荷受部門と連携し販売量を

拡大し順調に回復したが、第7波の影響を受け計画は下回った

物流：電燃料費・運賃の増加、輸入食肉の荷動きの停滞等で計画を下回った

海外事業全体の販売数量増加と単価上昇で増収も、生産、製造、飼料コスト等の上昇を補えず減益

2023年3月期実績

(単位：億円)

	23年3月期1Q	23年3月期2Q	23年3月期上期	前年差	増減率
売上高	844	849	1,693	416	32.5%
事業利益	3	△ 13	△ 9	△ 16	-
事業利益率	0.4%	-	-	-	-

地域別売上高実績内訳

(単位：億円)

	23年3月期1Q	23年3月期 2 Q	23年3月期上期	前年差	増減率
豪州	364	340	703	225	46.9%
オーストラリア	258	273	531	154	40.9%
ウルグアイ	106	67	173	71	69.1%
米州	300	330	630	132	26.5%
アジア・欧州	190	189	378	69	22.1%
合計	844	849	1,693	416	32.5%

外部顧客売上高実績

(単位：億円)

	23年3月期1Q	23年3月期 2 Q	23年3月期上期	前年差	増減率
豪州	318	301	618	208	50.9%
オーストラリア	226	239	465	143	44.4%
ウルグアイ	91	62	153	66	74.5%
米州	81	94	175	49	38.7%
アジア・欧州	87	88	175	52	42.2%
合計	485	483	968	309	46.9%

上期 地域別売上実績

【豪州事業】

オーストラリア：堅調な販売価格と処理頭数の回復で増収

ウルグアイ：昨年輸出できなかった中国向け牛肉販売が再開し増収

【米州事業】

加工品：製造ラインの増強で堅調な需要に対応し増収

輸出：南米産豚肉の引き合いが強く増収

【アジア・欧州事業】

タイ（加工品）：日本向けの加工品輸出の回復が遅れ減収

トルコ（鶏肉）：昨年を上回る販売金額が継続し増収

※売上高は、セグメント間取引の消去があるため、海外合計と各地域の合算は一致しません。

事業利益増減要因分析

(単位：億円)

	1Q実績	2Q実績	上期計画	上期実績	差異
豪州	5	△16	4	△11	△14
オーストラリア	2	△6	2	△4	△6
ウルグアイ	3	△10	2	△7	△8
米州	0	△3	△2	△2	△1
アジア・欧州	0	△2	2	△2	△4
その他	0	△1	△1	△1	0
合計	6	△21	3	△16	△18

事業利益

(単位：億円)

	23年3月期1Q	23年3月期2Q	23年3月期上期	前年差	増減率
豪州	3	△8	△5	△11	-
オーストラリア	7	2	9	△4	△29.4%
ウルグアイ	△4	△10	△14	△7	-
米州	1	3	4	△2	△36.6%
アジア・欧州	2	△5	△3	△2	-
その他	△3	△3	△5	△1	-
合計	3	△13	△9	△16	-

上期 計画差異要因分析

【豪州】

(オーストラリア) △6億円

牛肉の原価率上昇で計画を下回った

(ウルグアイ) △8億円

牛肉生体価格の高騰により原価率が上昇し計画を下回った

【米州】 △1億円

(加工品)

鶏肉原料価格の高騰により計画を下回った

(食肉輸出)

為替影響により利益率が計画を下回った

【アジア・欧州】 △4億円

(トルコ)

価格改定を進めたが、飼料価格の高騰やリラ安により原価やコストが上昇し計画を下回った

CONTENTS

1.	2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績	2.	2023年 3 月期 計画	3.	2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料
----	----------------------------	----	------------------	----	----------------------------

4. 実績ハイライト① 2023年3月期2Q実績	14. 計画ハイライト	21. 2022年3月期連結業績概要及び 2023年3月期計画
5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績	17. 2023年3月期計画 加工事業本部	22. 2022年3月期品種別売上高実績及び 2023年3月期計画
7. セグメント情報 加工事業本部	18. 2023年3月期計画 食肉事業本部	23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び 連結キャッシュ・フロー計算書
9. セグメント情報 食肉事業本部	19. 2023年3月期計画 海外事業本部	25. 外部環境／市況
11.セグメント情報 海外事業本部		

2023年3月期通期計画

(単位：億円)

	22年3月期通期実績	1Q見込	2Q見込	前年差	増減比
売上高	11,744	12,400	12,700	956	8.1%
事業利益	481	430	360	△ 121	△25.2%
内) 継続事業利益	458			△98	△21.4%
事業利益率	3.9%	3.5%	2.8%	△1.1%	-
税引前当期利益	514	420	350	△ 164	△31.9%
親会社に帰属する当期利益	480	310	260	△ 220	△45.9%

前年差増減要因

(売上高)

食肉単価の上昇や販売数量の増加が影響し増収の見込み

(事業利益)

食肉事業における上期の減益と海外事業の通期の減益が影響し減益見込み

(税引前当期利益)

事業利益の減少と昨年の持分法による投資損益が影響し31.9%減少の見込み

(親会社に帰属する当期利益)

マリンフーズ(株)の株式譲渡等の影響で45.9%減少の見込み

1. 計画ハイライト②

飼料価格の高騰や為替影響による上期の食肉事業の減益、牛肉生体価格の高騰による下期の海外事業の見直しで360億円に下方修正
加工事業の主力ブランドや食肉事業のフード営業の回復、効率化施策を徹底し収益を確保

2023年3月期事業利益計画及び期初計画差異

(単位：億円)

	上期				下期				通期			
	22年3月期実績	1 Q見込	実績	見込差	22年3月期実績	1 Q見込	2 Q見込	見込差	22年3月期実績	1 Q見込	2 Q見込	見込差
加工事業本部	59	12	13	1	65	58	62	4	124	70	75	5
食肉事業本部	178	180	142	△ 38	178	180	188	8	356	360	330	△ 30
海外事業本部	6	9	△ 9	△ 18	18	21	10	△ 11	24	30	1	△ 29
球団・その他	4	23	19	△ 4	△ 20	△ 23	△ 33	△ 10	△ 16	0	△ 14	△ 14
消去・調整他	△ 16	△ 14	△ 13	1	△ 14	△ 16	△ 19	△ 3	△ 30	△ 30	△ 32	△ 2
合計	231	210	152	△ 58	227	220	208	△ 12	458	430	360	△ 70

セグメント別事業利益計画

加工事業) TVCMや販促の強化で主力ブランドを早期回復。高生産性ラインでの製造比率向上や商品統廃合、労務費削減等の効率化で収益を確保

食肉事業) 飼料価格の上昇や輸入食肉の高騰が影響し上期は減益となったが、フード販売の回復による畜種・チャネルミックスの改善や組織改編による効率化で下期は収益を確保

海外事業) 価格改定を進めた北米の加工品の数量増で収益を回復させるが、海外食肉事業のコスト高と販売価格下落の影響で計画見直し

球団・その他) ボールパーク開業に伴う先行費用の発生で下期計画を見直し

CONTENTS

1. 2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期2Q実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11.セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年 3 月期 計画

- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事業本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

2023年3月期通期計画 事業利益75億円

利益計画 増減要因分析 (単位：億円)

	下期			通期		
	1 Q見込	2 Q見込	差異	1 Q見込	2 Q見込	差異
ハム・ソーセージと デリ商品事業	△7	0	7	△45	△39	6
外部要因	△86	△88	△2	△148	△149	△1
主原料価格	△45	△40	4	△70	△65	5
副資材・燃料等	△41	△47	△7	△78	△83	△6
内部要因	79	88	9	103	110	6
価格改定効果	66	69	3	82	83	1
改善活動	13	19	6	21	27	5
乳製品・水産と エキス・一次加工品事業	5	3	△3	6	4	△3
DX費用	△6	△6	0	△16	△14	2
合計	△8	△4	4	△54	△49	5

チャネル別/コンシューマ商品別通期売上計画 (前年比)

ハム・ソーセージ	数量	金額	ハム・ソーセージ	金額	デリ商品	金額
コンシューマ計	96%	97%	ウインナー群	98%	チルドベーカリー群	101%
業務用計	98%	99%	ロースハム群	109%	チルド惣菜群	96%
デリ商品	数量	金額	ベーコン群	104%	フライドチキン群	101%
コンシューマ計	92%	96%	焼豚群	101%	ハンバーガー・ミートボール群	102%
業務用計	92%	95%	コンシューマ計	97%	コンシューマ計	96%

下期 利益計画差増減要因分析

【ハム・ソーセージとデリ商品事業】 7億円

(外部要因) △2億円

主原料：主に牛肉の調達環境が想定より改善

副資材：世界的インフレによる小麦、卵白末の高騰
包材、資材の高騰

燃料等：重油価格の更なる上昇

(内部要因) 9億円

価格改定：2月と10月に実施した価格改定効果を最大化

改善活動：ライン集約や労務費の削減

【乳製品・水産とエキス・一次加工品】 △3億円

乳製品：価格改定を進めるが、チーズや電燃料高騰の影響が残る

エキス・一次加工品

：価格改定を進めるが、牛肉原料や電燃料高騰の影響が残る

<主な取組み>

(コンシューマ商品)

- ・TVCM等の販促強化による主力ブランドの拡販
- ・新商品の販売拡大による粗利益の確保
- ・商品統廃合を継続し、商品ポートフォリオの最適化を推進

(業務用商品)

- ・メニュー提案強化による定番品、季節商品の導入拡大
- ・製販連携による安定稼働

2023年3月期通期計画 事業利益330億円

利益計画 増減要因分析 (単位：億円)

	下期			通期		
	1 Q見込	2 Q見込	差異	1 Q見込	2 Q見込	差異
国産牛・豚事業	3	△1	△5	8	△4	△11
国産鶏事業	△6	10	16	△31	△11	21
輸入食肉事業	3	△6	△9	9	△27	△36
フード販売	7	14	7	31	28	△3
DX費用	△6	△6	0	△15	△15	1
その他	0	△2	△2	3	3	△1
合計	2	10	8	4	△26	△30

下期 利益計画差増減要因分析

【国内事業全体】

下期も飼料価格や燃料等の外部環境の影響を一定受けるが、飼料会社との連携や、組織改編によるコスト低減に努める

【国産牛・豚事業】 △5億円

生産部門：生産性改善の取組みを継続。生産量の拡大・コスト低減を図る

荷受(牛肉)：和牛の輸出により収益力を強化

荷受(豚肉)：価格転嫁を進め収益を確保

【国産鶏事業】 16億円

生産部門：桜姫の生産拡大。組織改編で在庫保管や冷蔵費の最適化を図る

荷受(鶏肉)：桜姫の販売比率向上に向けた製販連携強化と社外調達の強化

桜姫の輸出を拡大させ収益力を強化

【輸入食肉事業】 △9億円

調達価格高騰の影響で、市場全体の調達量は引き続き減少の見込み

牛肉/豚肉：価格優位な調達国からの輸入を拡大し安定供給を図る

鶏肉：生産が回復基調にあるタイ産鶏肉の拡販を図る

【フード販売】 7億円

インバウンドの回復などもあり、外食の回復が進む見込み

販売：ブランド食肉の販売比率向上や、外食専門チームで販売拡大に

向けて取り組む

4. 2023年3月期計画 海外事業本部

2023年3月期通期計画 事業利益 1 億円

利益計画 増減要因分析

(単位：億円)

	下期			通期		
	1 Q見込	2 Q見込	差異	1 Q見込	2 Q見込	差異
豪州	△5	△12	△8	△1	△23	△22
オーストラリア	△3	△12	△8	△1	△16	△14
ウルグアイ	△1	0	1	0	△7	△7
米州	8	11	2	7	8	2
アジア・欧州	1	△4	△5	2	△6	△9
その他	△1	△2	△1	△2	△3	△1
合計	3	△8	△11	6	△23	△29

事業利益計画

(単位：億円)

	下期			通期		
	1 Q見込	2 Q見込	差異	1 Q見込	2 Q見込	差異
豪州	16	9	△8	25	3	△22
オーストラリア	15	6	△8	30	15	△14
ウルグアイ	1	2	1	△5	△12	△8
米州	14	16	2	18	20	2
アジア・欧州	△3	△8	△5	△2	△11	△9
その他	△6	△7	△1	△12	△12	△1
合計	21	10	△11	30	1	△29

下期 利益計画差増減要因分析

【豪州事業】 △8億円

中国向け需要が軟調で販売価格の下落を見込む

（オーストラリア） △8億円

牛肉生体価格は徐々に下がってきたが、処理頭数の増加は4Qにずれ込む見込み

ブランディングやマーケティングの強化を図る

（ウルグアイ） 1 億円

牛肉の販売単価の下げ幅以上に仕入価格が下がる見込み
最適な生産体制で収益を最大化する

【米州事業】 2 億円

鶏肉原料価格の正常化と価格改定効果で収益性が改善

【アジア・欧州事業】 △ 5 億円

（タイ）

原料価格は引き続き高止まることを見込む

日本のCVS・フードサービス向けの商品供給を強化

（トルコ）

リラ安や飼料高で生産コストの上昇が継続

商品構成の最適化で収益を最大化させる

CONTENTS

1. 2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期2Q実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11. セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年 3 月期 計画

- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

1. 2022年3月期連結業績概要及び2023年3月期計画

(単位：百万円、%)

		22年3月期実績			23年3月期計画					
		上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	増減率 (%)	下期計画	増減率 (%)	通期計画	増減率 (%)
①	売上高	569,118	605,271	1,174,389	634,024	11.4	635,976	5.1	1,270,000	8.1
②	売上原価	468,057	506,304	974,361	541,782	15.8	531,218	4.9	1,073,000	10.1
	売上総利益	101,061	98,967	200,028	92,242	△ 8.7	104,758	5.9	197,000	△ 1.5
	売上総利益率	17.8%	16.4%	17.0%	14.5%	-	16.5%	-	15.5%	-
③	販売費及び一般管理費	75,502	82,448	157,950	81,644	8.1	87,356	6.0	169,000	7.0
	その他の収益・費用	△ 596	2,651	2,055	9,027	-	△ 4,527	-	4,500	-
	金融収益・費用	10	△ 1,801	△ 1,791	20	-	△ 1,020	-	△ 1,000	-
	持分法による投資損益	3,100	5,924	9,024	2,646	△ 14.6	854	△ 85.6	3,500	△ 61.2
	税引前利益	28,073	23,293	51,366	22,291	△ 20.6	12,709	△ 45.4	35,000	△ 31.9
	法人所得税費用	8,069	4,599	12,668	5,892	△ 27.0	3,108	△ 32.4	9,000	△ 29.0
	税率	28.7%	19.7%	24.7%	26.4%	-	24.5%	-	25.7%	-
	親会社の所有者に帰属する当期利益	19,604	28,445	48,049	15,480	△ 21.0	10,520	△ 63.0	26,000	△ 45.9
④	営業利益①－②－③	25,559	16,519	42,078	10,598	△ 58.5	17,402	5.3	28,000	△ 33.5
⑤	為替差損益	△ 781	△ 2,216	△ 2,997	△ 5,973	-	-	-	-	-
⑥	IFRSへの調整他	3,213	△ 3,959	△ 746	1,367	-	-	-	-	-
⑦	非継続事業への調整	△ 1,125	△ 1,170	△ 2,295	-	-	-	-	-	-
	事業利益④－⑤－⑥－⑦	24,252	23,864	48,116	15,204	△ 37.3	20,796	△ 12.9	36,000	△ 25.2

※ 前期の事業利益は、株式譲渡したマリノフーズ株式会社及び同社の子会社などに関連する水産事業の実績値が含まれた金額を表示しております。

2. 2022年3月期品種別売上高実績及び2023年3月期計画

(単位：百万円、%)

	22年3月期実績			23年3月期計画								
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	増減率	数量伸長率	下期計画	増減率	数量伸長率	通期計画	増減率	数量伸長率
ハム・ソーセージ	63,874	67,273	131,147	62,683	△ 1.9	△ 2.7	67,317	0.1	△ 1.8	130,000	△ 0.9	△ 2.3
加工食品	111,560	113,416	224,976	116,383	4.3	△ 3.2	117,617	3.7	0.0	234,000	4.0	△ 1.6
食 肉	345,615	377,228	722,843	398,607	15.3	1.5	399,393	5.9	△ 0.5	798,000	10.4	0.5
牛 肉	137,743	156,165	293,908	167,981	22.0	5.0	161,019	3.1	△ 1.6	329,000	11.9	1.7
豚 肉	112,368	118,394	230,762	121,533	8.2	2.8	123,467	4.3	1.7	245,000	6.2	2.3
鶏 肉	85,786	93,763	179,549	99,320	15.8	△ 1.3	104,680	11.6	△ 1.5	204,000	13.6	△ 1.4
その他食肉	9,718	8,906	18,624	9,773	0.6	1.9	10,227	14.8	△ 2.0	20,000	7.4	0.1
乳製品	17,120	18,094	35,214	18,126	5.9	△ 4.2	19,874	9.8	△ 4.6	38,000	7.9	△ 4.4
その他（水産含む）	30,949	29,260	60,209	38,225	23.5	-	31,775	8.6	-	70,000	16.3	-
合 計	569,118	605,271	1,174,389	634,024	11.4	-	635,976	5.1	-	1,270,000	8.1	-

*非継続事業(マリンフーズ)を除く実績

3. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

	22年3月期	23年3月期		
	期末	上期	対前期末増減率	対前期末増減額
資産合計	909,213	946,987	4.2	37,774
負債合計	419,659	440,968	5.1	21,309
親会社の所有者に帰属する持分	479,069	494,786	3.3	15,717
非支配持分	10,485	11,233	7.1	748
資本合計	489,554	506,019	3.4	16,465

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、%)

	22年3月期	23年3月期		
	上期実績	上期実績	対前年増減額	通期計画
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,317	△ 13,354	△ 22,671	55,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,754	△ 26,545	209	△ 85,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,819	11,938	10,119	18,700

設備投資額、減価償却費

(単位：百万円、%)

	22年3月期	23年3月期			
	上期実績	上期実績	対前年増減率 (%)	対前年増減額	通期計画
設備投資額	25,490	32,770	28.6	7,280	86,700
加工事業本部	4,872	3,479	△ 28.6	△ 1,393	14,320
食肉事業本部	5,834	7,607	30.4	1,773	27,020
海外事業本部	1,436	1,646	14.6	210	8,610
球団	7,691	14,254	85.3	6,563	22,200
その他	5,657	5,784	2.2	127	14,550
減価償却費	17,985	18,818	4.6	833	37,700

主な増減要因

- ①資産合計
棚卸資産395億円増加、および有形固定資産175億円増加等
- ②営業活動によるキャッシュ・フロー
税引前四半期利益223億円、減価償却費及び償却費188億円等があったが、営業債権及びその他の債権の増加112億円、棚卸資産の増加376億円、法人所得税の支払額71億円等により、134億円の純キャッシュ減となった。
- ③投資活動によるキャッシュ・フロー
短期貸付金の減少87億円等があったが、固定資産等の取得364億円等により、265億円の純キャッシュ減となった。
- ④財務活動によるキャッシュ・フロー
現金配当104億円、借入債務の返済416億円等があったが、短期借入金の増加176億円、借入債務による調達460億円等により、119億円の純キャッシュ増となった。

CONTENTS

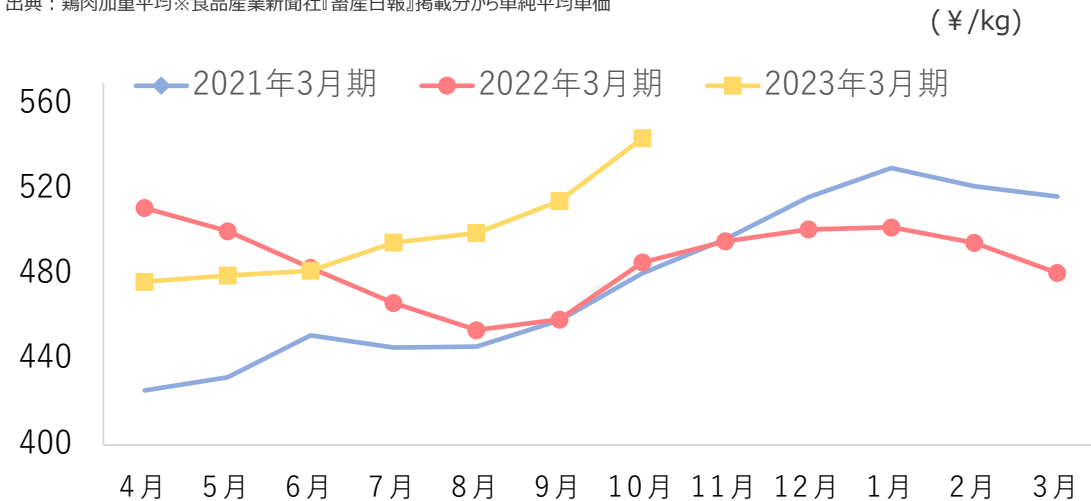
1.	2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績	2.	2023年 3 月期 計画	3.	2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料
----	----------------------------	----	------------------	----	----------------------------

4. 実績ハイライト① 2023年3月期2Q実績	14. 計画ハイライト	21. 2022年3月期連結業績概要及び 2023年3月期計画
5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績	17. 2023年3月期計画 加工事業本部	22. 2022年3月期品種別売上高実績及び 2023年3月期計画
7. セグメント情報 加工事業本部	18. 2023年3月期計画 食肉事業本部	23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び 連結キャッシュ・フロー計算書
9. セグメント情報 食肉事業本部	19. 2023年3月期計画 海外事業本部	25. 外部環境／市況
11.セグメント情報 海外事業本部		

4. 外部環境 市況

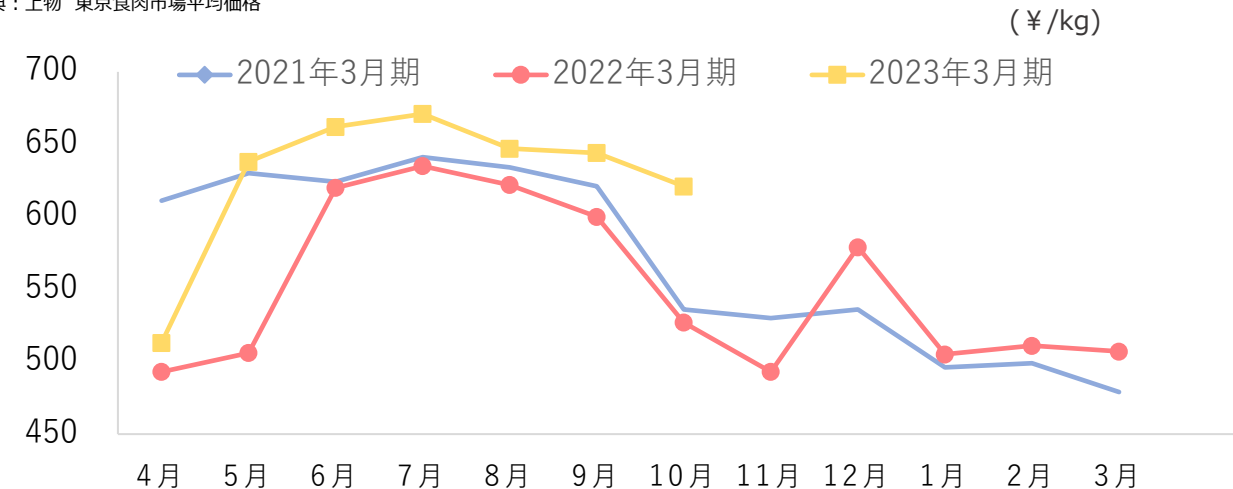
【国産鶏肉相場】

出典：鶏肉加重平均※食品産業新聞社『畜産日報』掲載分から単純平均単価



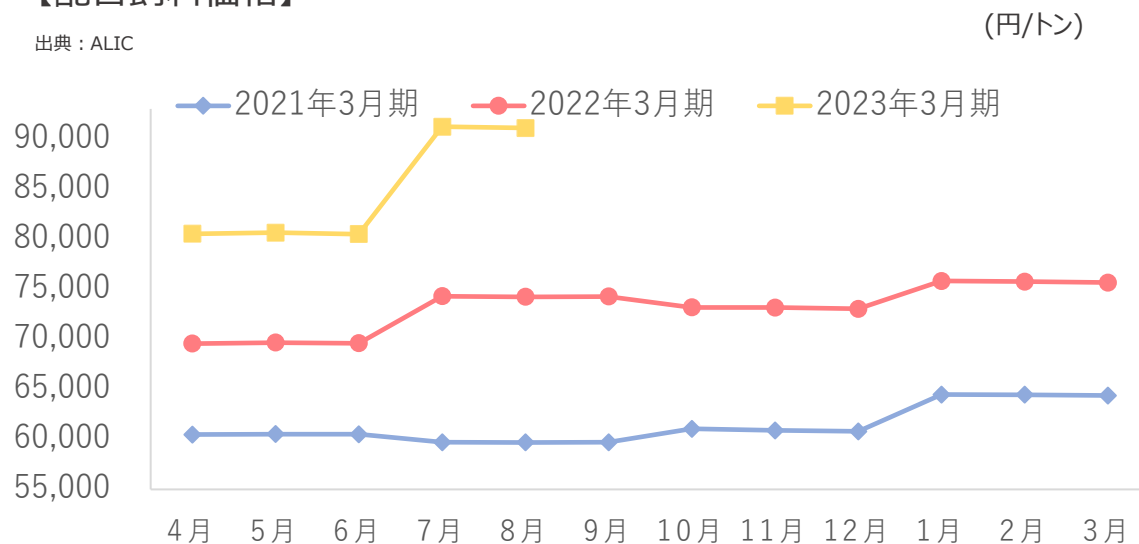
【豚肉枝肉卸売価格】

出典：上物 東京食肉市場平均価格



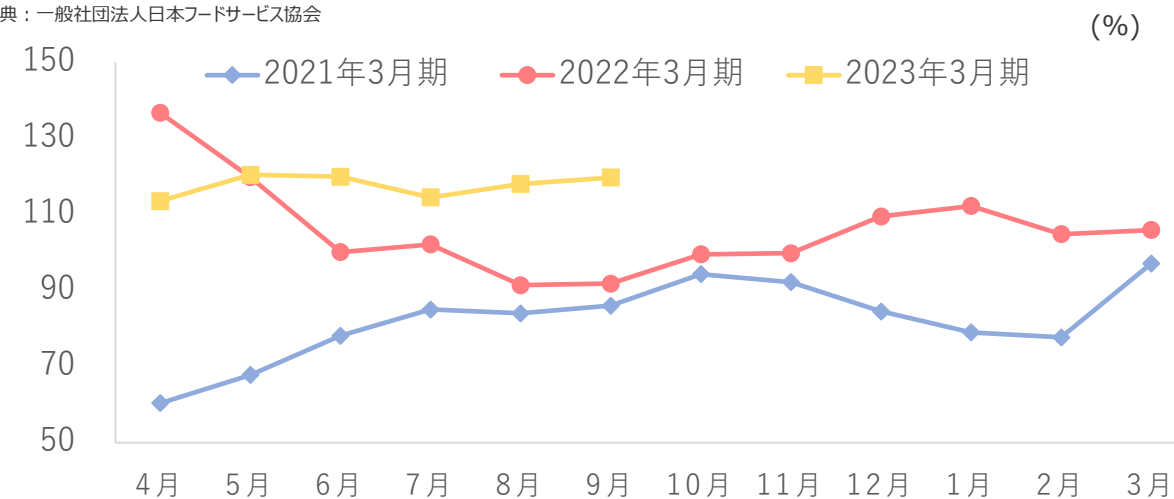
【配合飼料価格】

出典：ALIC



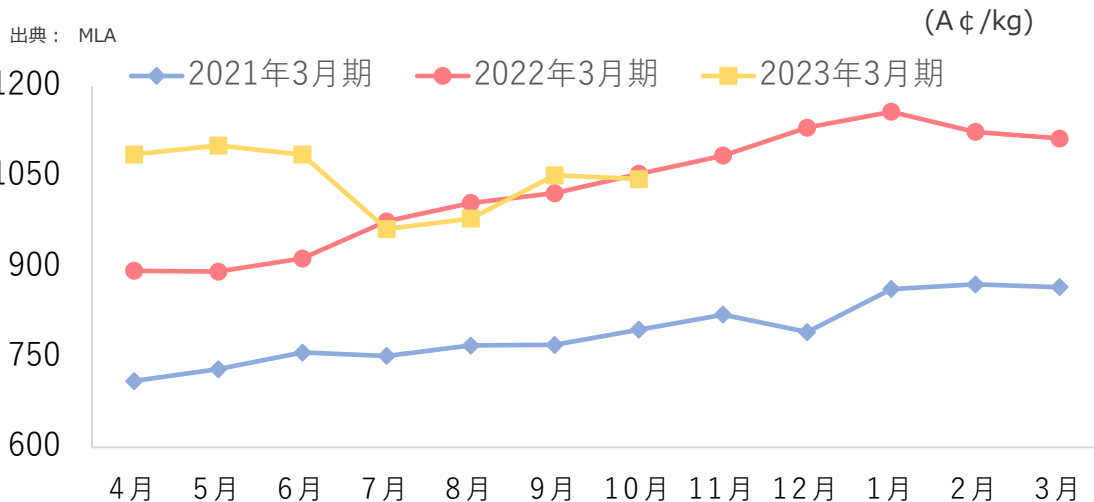
【外食売上高前年同月比】

出典：一般社団法人日本フードサービス協会

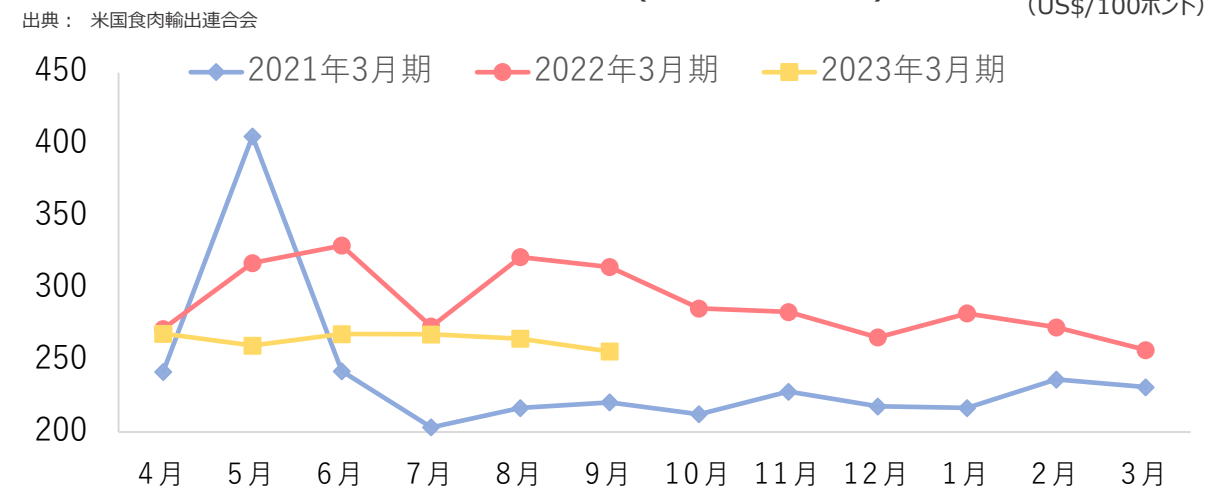


5. 外部環境 市況

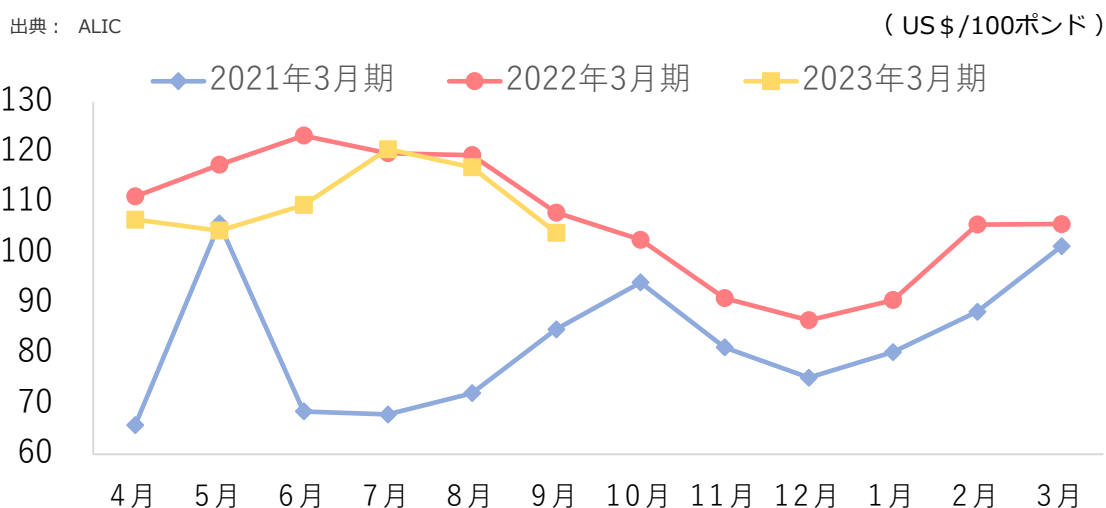
【豪州産 若齢牛価格(生産者販売価格)】



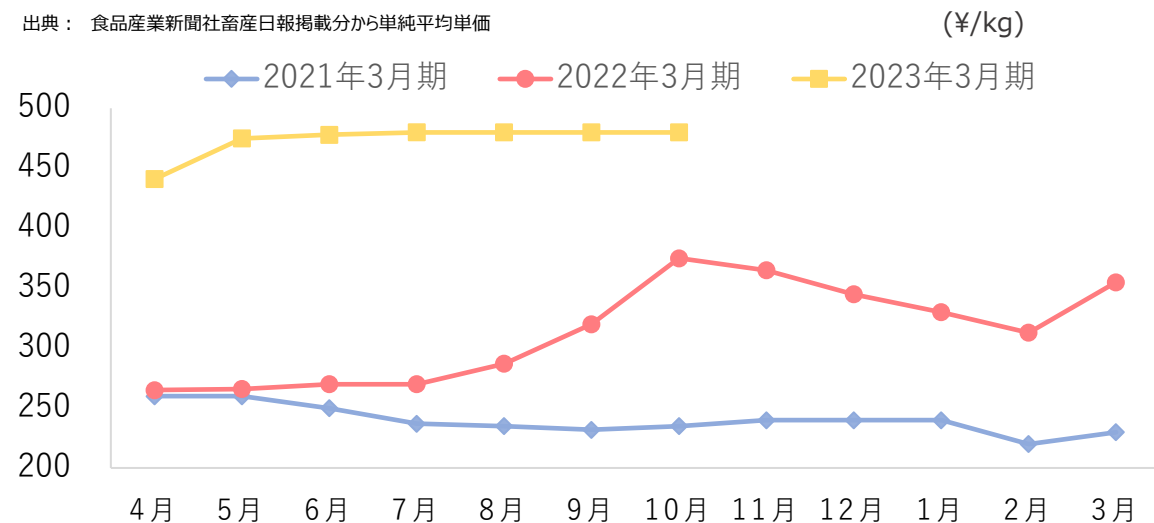
【米国産牛肉 カットアウトバリュー(卸売指標価格)】



【米国産 豚肉カットアウトバリュー 枝肉ベース】



【ブラジル産もも肉価格】



お問合せ先

〒141-6013 東京都品川区大崎2-1-1
Think Park Tower
日本ハム株式会社 広報 I R 部
電話：03-4555-8024
メールアドレス：nhfoods.ir@nipponham.co.jp

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え頂きますようお願いいたします。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。